

平成 30 年 5 月 31 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト

沖合生産・処理施設 (CPF) における生産開始に向けた準備作業の完了について

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、オーストラリア連邦において操業主体 (オペレーター) としてプロジェクトパートナーと共にイクシス LNG プロジェクト (以下、本プロジェクト) の開発作業を進めておりますが、今般、沖合生産・処理施設 (以下、CPF: Central Processing Facility、名称: イクシス エクスプローラー) にて生産開始に必要な試運転作業が完了しましたので、お知らせいたします。

これにより、本プロジェクトの陸上及び沖合における全ての主要施設において、生産開始に必要な試運転作業が完了したことから、今後は最終的な安全確認作業等を実施した後、生産井からのガス生産を開始する予定であり、その後、本年度の上期末までに生産物の出荷を行ってまいります。



「イクシス エクスプローラー」

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

当社は引き続き、本プロジェクトに関係するプロジェクトパートナー、地域コミュニティの方々、オーストラリア連邦政府、西豪州政府及び北部準州政府などのオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトの成功に向けて引き続きまい進する所存です。

なお、本プロジェクトから見込まれる利益貢献を織り込んだ2018年度（2019年3月期）の連結業績予想については、変更ありません。

以上

イクシス LNG プロジェクト

イクシスLNGプロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター、参加権益比率：62.245パーセント）としてトータル社（同：30パーセント）、台湾中油（CPC、同：2.625パーセント）、東京ガス（同：1.575パーセント）、大阪ガス（同：1.2パーセント）、関西電力（同：1.2パーセント）、JERA（同：0.735パーセント）及び東邦ガス（同：0.42パーセント）と共に、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設する陸上ガス液化プラントにて液化し、年間約890万トンのLNG及び年間約165万トンのLPGとして生産・出荷すると共に、沖合生産・貯油出荷施設（FPSO）などから日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する計画です。本プロジェクトは、40年という長期にわたって稼働が見込まれる世界的にも大規模なLNGプロジェクトです。当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に最終投資決定しました。